

児童発達支援 事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和5年 3月 1日

事業所名 スタジオそら原宿

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係が適切であるか	8	0	・朝礼や昼礼の打ち合わせ時にどの利用児童がどの部屋をどのくらい時間使うか決めています。 ・学習と運動の部屋等、部屋を壁で分け集中しやすいよう工夫しています。	・今後もスペースの有効活用を心掛けていきます。
	② 職員の配置数は適切であるか	8	0	・最低人員にプラスして加配をつけています。 ・複数人で配置の確認を行っています。	・人員配置としては適当な人数のため、導線の見直しや職員のスキルアップで補っていきます。
	③ 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっている。また、障害特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	8	0	・何を行う部屋か分かるように文字や絵で示しています。 ・洗面台の「手洗い順」や、玄関の足型等を示しています。 ・壁や扉の角にクッション、各ドアにドアストッパーを設置して、安全面に配慮しています。	・部屋の一口の取っ手が細長く、未就学児の高さにあるため安全管理に気を配っています。
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間になっている。	8	0	・特に感染症対策として、部屋の換気、手洗いうがい、こまめな消毒を行っています。 ・毎日、昼と夕方に消毒、営業終了後に清掃を行っています。	・今後も清掃、消毒を徹底していきます。
適切な支援の内容	⑤ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に広く職員が参画している	8	0	・終礼時に子どもの様子等を共有し、常に振り返りを行っています。 ・ケース会議を実施し、複数の職員と支援内容を考えています。	・ケース会議ではなるべく出勤者の多い日に設定し多くの人が参加できるように工夫していきます。
	⑥ 保護者向け評価表により、保護者に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善に繋げている	8	0	・来所時に直接評価のお願いをしています。 ・ソフト面に対しては、頂いた意見を取り入れて対応しています。	・評価表以外でもご意見を頂きやすい環境を作っていくよう工夫していきます。
	⑦ 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	8	0	・HPIにて公開しています。	・今後も継続していきます。
	⑧ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0	8	・社内でチェック機能を作り、定期的に評価できるような体制を作っています。	・定期的に社内でチェックを行っていきます。
	⑨ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	8	0	・入職時は療育や制度について研修を実施しています。 ・虐待防止等の社内研修も定期的に実施しています。 ・研修動画など研修に用いることができる社内システムを構築しています。	・個々のOJTでの研修がメインとなっています。 ・社内研修の充実化を図り、教える側のスタッフも学べる機会を増やせるよう工夫していきます。
	⑩ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	8	0	・アセスメントに時間を多くとるようにしています。 ・面談やアンケートにて保護者の方のニーズを把握できるよう努めています。	・保護者との面談の機会を増やしていくよう工夫していきます。
	⑪ 子どもの適応行動の状況を回るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	8	0	・社内共有のガイドライン等の独自のアセスメントツールを使用しています。	・アセスメントツールを使用できるスタッフを増やしていくよう研修など実施していきます。
	⑫ 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	8	0	・本人支援に置いて、運動・学習・生活という大きな三つの軸を基に設定しています。 ・本人支援だけではなく、その他の支援に関しても必要に応じて対応しています。	・ガイドラインをスタジオに設定し、いつでも目を通せるようにしているため今後も意識して確認できるように周知していきます。
	⑬ 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	8	0	・子どもごとの好きな活動を含めながら、目標達成のために、考えられたプログラムを日々実施しています。 ・支援計画に沿った支援内容、記録方法を行い、統一した支援を実施できるよう工夫しています。	・担当の療育士がきまっていないため、どのスタッフが支援しても目標が手立って共有できるよう、打合せを念入りに行っていきます。

業務改善	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	8	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎活動時、朝礼、昼礼、終礼を実施しています。</li> <li>・話し合いて療育時の方向性を決めていきます。</li> <li>・プログラムごとに担当者を割り振り、前回担当者話し合いながら行っています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スタッフ同士の意見交換が活発になると相乗効果生まれるので、意見交換しやすい環境を作っていきます。</li> </ul>
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	8	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校体育や、あおぞら等、毎月あるプログラムは月ごとにテーマを変えて実施しています。</li> <li>・個別支援計画に沿ったプログラムは意識ながらも子どもが飽きないよう工夫しています。</li> <li>・担当する療育士が固定化しないように、毎回別の療育士を担当として配置しています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員のスキルによって提供できるプログラムに差がある為、先輩職員の持っている知識を周知する方法を検討していきます。</li> </ul>
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	8	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的には個別療育を中心に行っています。</li> <li>・集団活動は本人やご家族のニーズを踏まえて設定しています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後もニーズを共有し、状況に合わせた支援ができるよう工夫していきます。</li> </ul>
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	8	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・打ち合わせ時に当日だけでなく、前回の内容も合わせて共有しています。</li> <li>・前回の業務日誌の共有、その日の児童プログラムや課題の共有をしています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も丁寧に打ち合わせを実施していきます。</li> </ul>
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	8	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全員が発言できるよう、工夫しています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・より効率的で適切な共有方法を検討していきます。</li> </ul>
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	8	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・記録の書き方について、必要に応じて指導しています。</li> <li>・記録を丁寧に記入して、読みやすくまとめています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・記録用紙の書き方を、誰が見ても分かりやすいよう、どんな教材や教具を使用したか等、具体的に記述することを意識していきます。</li> </ul>
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	8	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・過去の記録をもとにモニタリングを実施しています。</li> <li>・その都度アセスメント、モニタリングしながら、目標設定は高い場合は低くする等の工夫をしています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も丁寧に見直しを行っていきます。</li> </ul>
関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参加している	8	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要に応じて管理者がリモートで参加しています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新しい職員にも担当者会議の役割について説明していきます。</li> </ul>
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	8	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相談を受けた際や必要に応じて、連携を対して対応しています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・連携を取れていない機関もあるので、連絡会で繋がりをつくるなど関係を深めていけるよう工夫していきます。</li> </ul>
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	8	-	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在対象者は利用していません。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・対象者利用の際には、関係機関と連携して支援を行っていきます。</li> </ul>
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	8	-	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在対象者は利用していません。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・対象者利用の際には、関係機関と連携して支援を行っていきます。</li> </ul>
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	8	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相談を受けた際など、必要に応じて電話等で情報共有しています。</li> <li>・実際にご見学して頂いたり、書面で情報共有することもあります。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者を通して、他の施設からの申し出があった時のみ共有をしています。</li> <li>・保護者の方にもそのようなニーズに対応していけることをお伝えしていきます。</li> </ul>
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	8	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要に応じて情報共有しています。</li> <li>・ご希望の場合には就学支援シートの作成も行っています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者を通して、他の施設からの申し出があった時のみ共有をしています。</li> <li>・保護者の方にもそのようなニーズに対応していけることをお伝えしていきます。</li> </ul>
	㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	8	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・月に一度集まり、リモートで他事業所と情報交換や研修を行っています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・管理者のみに関わらず多くのスタッフが参加できるよう工夫していきます。</li> </ul>
	㉘	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	0	8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎年行っていたそらコンサートの開催が感染症対策のため、実施することができませんでした。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感染症等の状況を踏まえながら検討していきます。</li> </ul>
	㉙	(自立支援) 協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	8	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業所連絡会にて、子ども部会での内容を共有していただいています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自立支援協議会(子ども部会)や事業所連絡会の役割などを事業所内で共有することができていないため、周知していく方法を検討していきます。</li> <li>・今後地域の福祉の動きなども事業所内で周知していきます。</li> </ul>
	㉚	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達状況や課題について共通理解を持っている	8	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・普段から話しかけられやすい雰囲気意識しています。</li> <li>・フィードバックの際に様子等を聞くように意識しています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今度も気軽にお声がけいただけるような雰囲気を作っていけるよう意識していきます。</li> </ul>

保護者への説明責任等	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている	0	8	・プログラムとしてのペアレントトレーニングは未実施ですが、答えられる範囲でご相談に乗っています。	・事業所内で相談していただいた際に、提案できるような知識を増やすよう努めています。
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	8	0	・契約時に説明しています。	・今後も丁寧な説明を心掛けていきます。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	8	0	・個別支援計画書についての面談をし、ご要望の聞き取りや確認を行うことで、ニーズをくみ取る工夫をしています。 ・実際に個別支援計画書の書面を見せながら説明し同意を得ています。	・ゆっくりとした時間を取れていない為、お時間を取ってお話が出来るように工夫していきます。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	8	0	・フィードバック中など、相談を受けた際は随時対応しています。 ・フィードバック中などで伝えきれない場合は、後日別途時間を作り伝えるなど工夫しています。	・今後も気軽にお声がけいただけるような雰囲気意識していきます。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0	8	・現状、父母の会や保護者会等は行っていません。	・保護者同士の連携は未実施の為、保護者のニーズを聞き取り必要に応じて検討します。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	8	0	・相談を受けた次の利用日には、なるべく対応できるようにしている。 ・フィードバック中などで伝えきれない場合は、後日別途時間を作り伝えるなど工夫しています。	・今後も気軽にお声がけいただけるような雰囲気意識していきます。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	8	0	・HP上で情報発信をしています。 ・スタジオ独自で掲示物を作成するなどして活動内容が分かりやすくなるよう工夫しています。 ・そら通信で各スタジオのプログラムを紹介しています。	・HP上でもそら通信の充実に加え、毎月のスタジオでの課題が充実できるよう工夫していきます。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	8	0	・必要に応じて面談室を使用するなど場所の配慮を意識しています。 ・個人情報を書かれているものは鍵付きのキャビネットにて管理しています。	・今後も状況に応じた配慮ができるよう工夫していきます。
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	8	0	・子どもの理解力によって、絵カード等、ことば以外の方法で伝えるなど提示の仕方を工夫しています。	・今後も子どもの理解度に合せた指示の仕方など配慮していきます。 ・また保護者の方には気軽に声をかけていただけるように普段からのコミュニケーションをとることも意識していきます。 ・手段や工夫の方法をより多く知れるよう研修を実施していきます。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	8	0	・毎年行っていたそらコンサートの開催が感染症対策のため、実施することが難しい状況でした。 ・あおぞら療育は地域の公園で行っています。	・例年そらコンサートを実施、地域の方にも参加してもらえるようにしていましたが、今年度は新型コロナウイルス感染症対策の為、実施が難しい状況でした。 ・今後感染症等の状況を踏まえながら検討していきます。
非常時の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	8	0	・閲覧用マニュアルの設置を行うと共に、新型コロナウイルス感染症対策についても掲示し周知しています。 ・職員に対しては定期的に研修を行っています。	・今後も理解を深めていくよう研修を実施していきます。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	8	0	・例年2回、訓練する日を設け訓練しています。	・新型コロナウイルス感染症対策のため、例年通りの実施は難しい状況でしたが、今後も状況を踏まえながら実施を検討していきます。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	8	0	・必要に応じて、てんかんの対応等の聞き取りをしています。 ・てんかんについての知識をつけるための研修を実施しました。	・対象児童についての情報共有だけでなく、基礎知識をつけるための研修など今後も継続的に実施していきます。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	8	0	・基本的に食事提供などがないため、イベント時、契約時などに保護者に確認しています。 ・粘土等はアレルギーの確認を行った後から使用しています。	・今後も注意喚起を行っていきます。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	8	0	・ファイルを作成し、いつでも閲覧できるようにしています。	・今後も研修などで理解を深めていきます。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	8	0	・定期的に研修を行っています。	・今後も研修などで理解を深めていきます。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	8	0	・対象になる利用者がいない為、行っていないが、マニュアルはあるため、マニュアルの内容を共有しています。	・今後も研修などで理解を深めていきます。

この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。